

# SIP-adus Workshop 2022 開催に向けた検討



# SIP-adus Workshop2022 開催方針

## ■ SIP-adus Workshop開催目的

- I) 日本の成果の国際発信    II) 海外の情報共有    III) ネットワーク構築
- IV) 国内関係者への情報発信    V) 国際的なリーダーの育成

## ■ Workshop構成設定方針

- ✓    Workshopの目的の達成を目指す
- ✓    SIP第二期の最終開催として、**将来に繋がる関係構築の場、成果発信の場**とする

## 【Plenary Session】

- 会場開催とし、Welcomeレセプションも実施。専門家・SIP関係者・後継組織での交流を促進する
- パネル展示の実施、同時通訳の導入で発信内容の理解を深める
- Sessionを後日オンライン配信し、広く一般向けに情報発信する

## 【Breakout Workshop】

- 会場開催を復活し、Face to Faceでの議論を深める
- 一般公開は行わずディスカッション時間を確保、集中した議論の時間を作る

# Workshop開催概要

		Plenary Session	Breakout Workshop
全般	日程	2022年10月11日（火）～12日（水）	2022年10月13日（木）
	目的	日本の成果の国際発信、国内外の情報共有・情報発信、ネットワーク構築	国際的リーダーの育成、国内外の情報共有・情報発信、ネットワーク構築
	会場	<b>同志社大学（ハーディーホール）</b>	ANAクラウンプラザホテル京都
	主催	SIP-adus, <b>モビリティ・イノベーション連絡会議、同志社大学</b>	SIP-adus
開催方法	資料	英語	英語
	言語	<b>同時通訳</b> （英語 ⇄ 日本語）	英語（通訳無し）
	会場参加	講演者、聴講者	Workshop参加者（原則会場） ※会場人数の調整あり
	Q&A	会場のみで実施（日英2言語）	
一般公開	開催期間	会場参加者のみ（ <b>一般含む</b> ） <b>ポスター展示実施予定</b>	無し
	後日配信	<b>配信予定 11月8日より</b> （日本語・英語）	無し
レセプション		10月11日 京都ガーデンパレス	10月13日 ANAクラウンプラザホテル京都
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>東大・同志社：『モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト(M-BIC)2022』（中間大会）10/10開催</li> <li>Breakout Sessionはレセプション前にテーマ毎にディスカッションのサマリ共有を実施</li> <li><b>8月に感染状況踏まえた会場開催有無判断</b>（録画によるオンライン開催（11/8より）への切り替え判断）</li> </ul>	

# 日独・日EU Bilateral meeting 実施見通し

日程	Workshop	サイドミーティング・イベント
10月X日		
10月10日	会場準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>『モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト(M-BIC)2022』(中間大会)</li> <li>近隣施設での茶会開催 (検討中)</li> </ul>
10月11日	Plenary 1 日目	ポスターセッション (ポスター展示)
	↓会場移動 (専用バス提供可能)	
	Welcome Reception	-
10月12日	Plenary 2日目	ポスターセッション (ポスター展示)
10月13日	Breakout Workshop	-
	Farewell Reception	
10月X日		10/14 日独Expert Workshop(予定) 10/17 日独連携Work Shop(HF)

# Plenary Session 7テーマ + Poster Session

		Day1				Day2		
9:00	Welcome Speech	内閣府 (VIP) 同志社大学学長	30分	9:00	Session⑤	テーマ	80分	
	Keynote Speech	欧・米・SIP-adus			Session⑥	テーマ	80分	
	Session①	Regional Activities	85分		休憩 (10min)			
	休憩 (15min)		Session②		テーマ1/7	80分		
	ランチ (12:30-13:30)		60分		<b>Poster Session(11:50~12:50) (60min) 60分</b>			
	<b>Poster Session(60min) 13:00~14:00</b>		Session③		テーマ2/7	80分		
	休憩 (15min)		Session④		Japanese Government	90分		
	17:05				Session⑦	テーマ5/7	65分	
					Session⑧	テーマ6/7	80分	
					休憩 (10min)			
				Session⑨	テーマ7/7	80分		
				休憩 (10min)				
				Session⑩	Panel Discussion	50分		
				18:00	Closing	15分		

技術テーマSession時間 : 80分(15分/人×5人Session⑦は4人想定、QA込)  
 Poster Session (案) : 1日目 昼休憩時間後半から、1時間  
 2日目 昼休憩時間中

# Session テーマ

【T】テーマ 【A】アブストラクト

<b>Regional Activities</b>	<p>【T】自動運転に関する各国の取り組み紹介</p> <p>【A】本セッションでは、自動運転に関する日米欧を中心とした各政府からの取り組みについて紹介する。</p>
<b>Impact Assessment</b>	<p>【T】Impact Assessment Activities</p> <p>【A】</p>
<b>Service &amp; Business Implementation</b>	<p>【T】Service and business implementation for automated mobility services</p> <p>【A】自動運転を活用したサービス（旅客・配送）におけるサービスモデルや事業モデルに関して、各国・地域において検討されているアイデアや課題を議論する。</p>
<b>Human Factors</b>	<p>【T】安全な自動運転のためのヒューマンファクター：過去と今後</p> <p>【A】自動運転車の安全に関わるヒューマンファクター課題への取り組みの総括として、これまでにわかったこと、残課題や新たな課題について共有する。</p>
<b>Dynamic Map</b>	<p>【T】ダイナミックマップによる動的情報連携と標準化</p> <p>【A】Dynamic Mapを活用した動的情報連携および地図更新の現状及び課題を共有化する。</p>
<b>Connected Vehicles</b>	<p>【T】協調型自動運転に関する動向</p> <p>【A】世界の各地域で自動運転や安全運転支援システムへの通信の活用が検討されているが、本格的な実用化には至っていない。各地域での協調型自動運転に関する動向について共有化し課題を考察する。</p>
<b>Safety Assurance</b>	<p>【T】安全性評価基盤のハーモナイズ</p> <p>【A】安全性保障の実現に向けて仮想環境は不可欠な技術であり、仮想環境に対する要求や妥当性検証の方法について国際的な協調が喫緊の課題である。仮想環境で評価を実施する評価シナリオ及び、各評価シナリオに対してどのような妥当性評価の方法と基準が必要なのか、各国プロジェクトの検討状況について持ち寄り、今後の連携・ハーモナイズの進め方について議論を行う。</p>
<b>Cybersecurity</b>	<p>【T】持続的に安全・安心な自動運転の実現に向けた新たな脅威への対応</p> <p>【A】国連法規が施行され、各OEMではサイバー攻撃からの継続的な保護に向けた取り組みが進められており、例えばIDS/IPSの活用などが検討されている。IDS/IPSにより攻撃の検知、初動対応の迅速化につながるものの、持続的な安全・安心の実現には、新たに発生する脅威へ常に対応できる状態しておく必要がある。本研究では、IDS/IPSの評価方法に加え、新たに発生する脅威情報を迅速に共有するための技術要件及び、プロアクティブな脅威情報の観測・収集について考察する</p>

# パネルディスカッション

実施意義	2014年に開催した第1回のSIP-adus Workshop以来、Plenary Sessionの形式やテーマが概ね踏襲されてきたが、 <b>9年間にわたるプロジェクトの集大成という観点、それとは矛盾する最新の進展や将来に向けた課題、の両面から改めて検討し、最終年にふさわしいプログラムにするのが良い。</b> 検討の結果として従来を踏襲するという結論もありうる。
テーマ名（案）	Achievement, challenges and the future of road vehicle automation
概要	SIP-adus最終年であること、欧州・米国それぞれ特徴的な取り組みが進む中でともに節目を迎えていることを踏まえ、日米欧を代表する実践的推進者が <b>過去10年の成果、残された課題、将来展開について忌憚のない意見を交わすパネルディスカッションを行う。</b> 講演形式ではなく、あらかじめ行う予備的な議論を踏まえた論点についての議論を行う。論点整理の箇条書き程度のスライドは聴衆の理解促進のために準備する。
参加者	<u>Panelists:</u> Steven Shladover, UC Berkrey, U.S.A. Aria Etemad, Volkswagen Group Research, Germany Seigo Kuzumaki, SIP-adus, Japan <u>Moderator:</u> Chie Fukushima, Cabinet Office, Japan
備考	【準備の進め方】 欧米に伍して議論に集中したセッションとするために周到な準備が必要。 1. 議論の論点や視点を事前に提示して、パネリストが準備した上でフリーディスカッションの場を設ける。 2. フリーディスカッションで交わされたやり取りのポイントから議論の流れを作って提示し、それに沿った発言のポイントをパネリストから提出してもらう。 3. 発言のポイントを整理したストーリー展開を準備してパネリストに周知する。 4. 当日は、セッション前に30分程度のウォーミングアップの時間を設ける。

# 開催会場

## 同志社大学 ハーディーホール

10/11-12 Plenary Session会場

アクセス：地下鉄今出川駅

情報：

<https://www.doshisha.ac.jp/kambaikan/facility/hardy.html>



## 京都ガーデンパレス

10/11 Welcome Reception会場

アクセス：地下鉄今出川駅/丸太町駅

情報：<https://www.hotelgp-kyoto.com/>



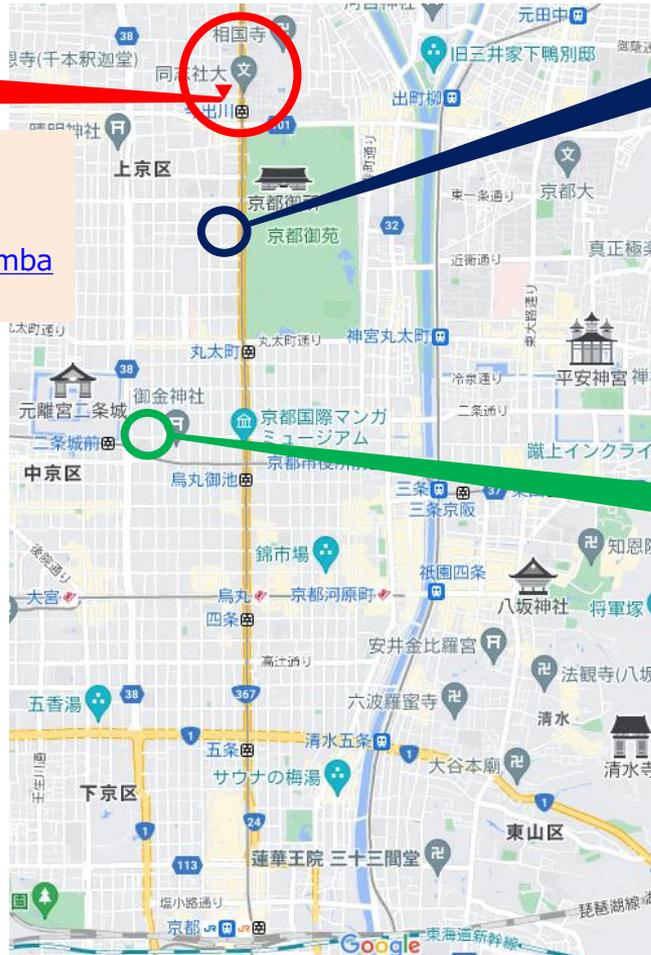
## ANA クラウンプラザホテル

10/13 Breakout Workshop会場

Farewell Reception会場

アクセス：地下鉄二条城前駅

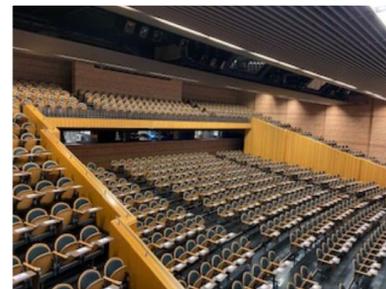
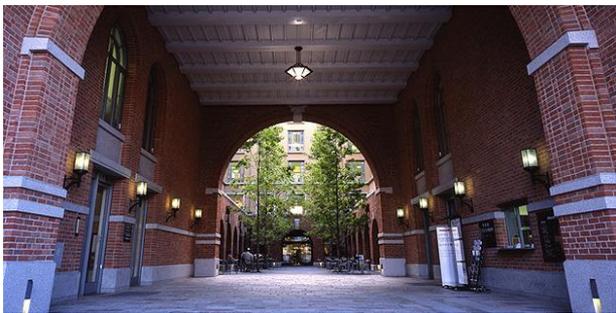
情報：<http://www.anacpkyoto.com/>



# 開催会場①：同志社大学 寒梅館

For Plenary Session

# (ハーディーホール)



- 客席数：850席（感染症対策により変動）
- 舞台：間口22.23m／奥行9.25m／高さ6.09m（全て最大値）



### SIP-adus Workshop 2022

#### 日程 開催地

#### Plenary Session

開催日：2022年10月11日（火）～12日（水）

会場：同志社大学/寒梅館ハーディーホール（京都府京都市上京区）  
セッション開始：9:00am（予定）

#### Breakout Workshop（招待制）

開催日：2022年10月13日（木）  
会場：ANAクラウンプラザホテル京都（京都府京都市中京区）

#### 開催概要

2022年度で第9回目を数えるSIP-adus Workshop。SIP第2期最終年度である今年度は、これまでの活動を総括し、その成果を次のプロジェクトへ、そして世界へ発信するための重要なイベントと位置づけ、国際都市「京都」で開催いたします。感染症対策を十分に施し、3年ぶりに国内外専門家同士で直接交流・議論ができる場を用意いたしますので、奮ってご参加ください。

日本及びグローバルな自動運転技術の発展と普及のための連携に向け、テーマ毎に研究内容や進捗状況を共有するセッションの他、各国の取組の紹介、米欧日代表によるパネルディスカッションを行います。

#### セッションテーマ

- Regional Activities 自動運転に関する各国の取り組み紹介
- Service and Business Implementation / FOTs 自動運転サービスの実現に向けたビジネスモデル
- Dynamic Map Dynamic Mapを活用した動的情報連携および地図更新の今後
- Connected Vehicles 協調型自動運転に関する動向
- Safety Assurance 安全性評価基盤のハーモナイズ
- Cybersecurity 持続的に安全・安心な自動運転の実現に向けた新たな脅威への対応
- Human Factors 自動運転および自動運転サービスにおけるヒューマンファクター
- Impact Assessment 自動運転技術の社会的インパクト

2022年5月23日現在

#### 主催

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 自動運転推進委員会  
国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)  
モビリティ・イノベーション連絡会議  
同志社大学  
協力：特定非営利活動法人 ITS Japan



#SIPadusworkshop2022

最新情報・詳細はこちらから



#sipadus #workshop2022

<https://www.sip-adus.ga.jp/evt/workshop2022/>



### SIP-adus Workshop 2022

#### Info

#### Plenary Session

Date : **October 11-12, 2022**

Venue : **Doshisha University (Hardy Hall, Kambaikan), Kyoto, Japan**  
Session starts from: 9:00am (tentative)

#### Breakout Workshop (Invitation only)

Date: October 13, 2022  
Venue: ANA Crowne Plaza Kyoto, Kyoto, Japan

#### About

SIP-adus Workshop will reach the 9th anniversary in 2022, which is the final year of the second phase of SIP. This is a significant event to conclude the activities we have worked, to hand them over to the next projects and then to transmit information to the world in Kyoto as one of the international cities. After 3 years of virtual workshop, a physical space is prepared to have a relationship and discuss with specialists from inside and outside Japan with enough infection prevention measures. For further development, implementation and cooperation on the automated driving technologies, please come and enjoy sessions to share the latest status of studies for each area and activities in relevant countries, along with panel discussion by experts representing the US, the EU and Japan.

#### Session Topics

As of 23 May 2022

- Regional Activities Introduction of regional activities regarding automated driving
- Service and Business Implementation / FOTs Business model and planning scheme for accessible automated driving
- Dynamic Map Dynamic contents distribution/ exchange with Dynamic Map and the updates
- Connected Vehicles Trends in Cooperative Driving Automation
- Safety Assurance Safety Assurance Virtual Testing Requirement and Validation
- Cybersecurity Prevention measure against new types of threats to secure automated driving systems in a sustainable way
- Human Factors Human factors in automated driving and automated mobility services
- Impact Assessment Social Impact of Automated Driving technologies

#### Organizer

Cross Ministerial Strategic Innovation Program, Secretariat of Science, Technology and Innovation Policy, Cabinet Office, Government of Japan  
New Energy and Industrial Technology Development Organization (NEDO)  
Alliance for Promoting Mobility Innovation  
Doshisha University  
Supported by ITS Japan



#SIPadusworkshop2022

最新情報・詳細はこちらから



#sipadus #workshop2022

<https://en.sip-adus.ga.jp/evt/workshop2022/>



